

# 「青少年の意識に関する調査」 結果報告書

平成27年3月

青 森 県

## はじめに

近年、青少年を取り巻く環境は、少子化や核家族化などに加え、社会全体にわたる情報通信機器の普及による影響などにより大きく変化しています。こうしたことを背景に家庭や地域における教育力の低下、いじめの多様化や有害情報の氾濫など、青少年を取り巻く様々な問題が顕在化しています。

このような社会の変化に対し、本県の青少年がどのような意識をもっているのかを捉えるため、県では隔年で「青少年の意識に関する調査」を実施し、総合的かつ効果的に青少年行政を進めていくための基礎資料としています。

今年度は、県内の小学校・中学校・高等学校44校の御協力をいただき、地域のこと、自分のこと、就労に関する意識などについて調査を実施し、青少年の意識と行動について報告書にとりまとめました。

この報告書が行政はもとより、青少年の育成に携わる皆様に広く御活用いただき、あおもりの未来を担う人財である青少年が、心豊かに健やかに成長していくための今後の施策や活動の一助となれば幸いです。

最後に、本調査の実施にあたり、御協力いただいた弘前大学教授の宮崎秀一氏をはじめ、各学校関係者並びに関係者各位に厚く御礼申し上げます。

平成27年3月

青森県環境生活部青少年・男女共同参画課長

三浦 朋子

# 目 次

第1部	調査の概要	1
第2部	調査結果の概要	7
1.	地域のこと	
	住んでいる地域への評価	9
	地域の大人へのあいさつ	10
	地域の大人からのあいさつ	13
	声かけに対する心境	16
	地域活動への参加	17
	ボランティア活動への参加	19
	ボランティア活動をする理由	20
	地域活動へ参加しない理由	22
2.	世の中のこと	
	世の中の出来事に対する関心	23
3.	学校のこと	
	学校生活への満足度	26
	学校生活が楽しい理由	30
	学校生活が楽しくない理由	31
4.	家族・家庭のこと	
	家族・家庭への評価	32
	家族との会話の頻度	33
	家族の中で一番話をする人	34
	一番話をする理由	35
	家族との約束ごと	36
	家族や家庭に大切なこと	38
	周囲の大人について	39
	周囲の大人に望むこと	43
5.	自分のこと	
	自己への評価	47
	自己への評価（満足度）	48
	自己への評価（性格など）	55
	自身への思いやり	61
	他人への思いやり	62
	命について	63
	悩みごと	64

悩みごとの相談相手	65
相談しない理由	66
<b>6. メディア・コミュニケーションのこと</b>	
友だちとのコミュニケーション方法	67
携帯電話・スマートフォンの所有状況	68
携帯電話・スマートフォンの使用目的	70
SNSの参加目的	72
LINEの使用目的	74
携帯電話・スマートフォンの使用時間	76
フィルタリング機能の認知状況（携帯電話・スマートフォン）	77
携帯電話のフィルタリング機能の利用状況	79
スマートフォンのフィルタリング機能の利用状況	81
自由に使えるパソコンの所有状況	83
自由に使えるパソコンの使用目的	84
自由に使えるパソコンの使用時間	86
フィルタリング機能の認知状況（パソコン）	88
パソコンのフィルタリング機能の利用状況	89
年齢が制限されているサイトへのアクセス状況	90
悪口やいじめにつながる書き込みへの認知状況	92
ゲーム機や携帯音楽プレーヤーを使ったインターネット・LINE等の利用状況	93
<b>7. 生活規範に対する意識</b>	
生活規範に対する意識	94
<b>8. 社会変化に対する意識</b>	
社会変化に対する意識	101
<b>9. 就労に関する意識</b>	
将来の就労意識	106
職業選択で大切なこと	107
<b>第3部 青森県の子ども・若者の現状と未来</b>	
—「青少年の意識に関する調査」（平成26年度）から—	109
弘前大学教育学部教授    宮崎 秀一 氏	
参考1 調査結果集計表	119
参考2 調査票	151